

歴史の扉

1997
第4号

(財) 広島市歴史科学教育事業団 文化財課

特集

じょうもん

ゆみや

縄文時代の弓矢

縄文時代の石の矢じり

(広島市佐伯区下沖5号遺跡出土)



こんなに小さな石の矢じりで
本当に狩りができたの？

復元した弓矢

じょうもん

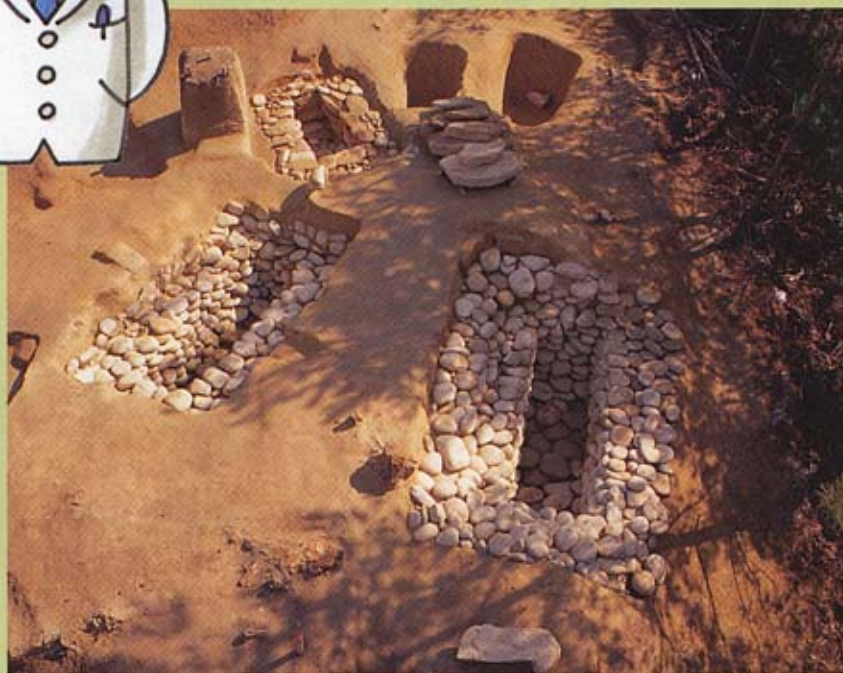
気分は縄文ハンター



今年度はこんな所を
発掘していたんじゃ

ぞん
ご存じでしたか？

発掘調査情報 '96



「河原石でできた 山上のお墓」

安佐北区口田町 梨ヶ谷遺跡

昨年度弥生ムラが発見された梨ヶ谷遺跡では、今年度は尾根の先の方から弥生時代の終わりの墓地が見つかりました。みはらしのよい墓地には、大小さまざまな形のお墓がありました。なかでも太田川の河原石をつんでつくった立派な石室をもつお墓は珍しいもので、弥生時代終わりの頃の広島を考えると、とても貴重なものと言えます。



「広島城本丸の正体を探る」

中区基町 広島城本丸跡

広島城は、今話題の毛利氏が築いたと言われますが、時の流れとともにその様子は大きく変わっています。今回の調査は、かつて本丸に建ち並んでいた建物の形や位置を確かめることが目的で、今年度はまず、正門にあたる中御門と米蔵の調査を行いました。調査では、建物の柱をのせた礎石、江戸時代の瓦、陶磁器などが見つかりました。



「貯蔵穴の持ち主はどこに!？」

安佐南区高取北 巢取遺跡

アストラムライン高取駅北側にある神社一帯は、住宅の建ちならぶ中であって自然が残る場所です。ここに巢取遺跡があります。この遺跡からは江戸時代の墓とともに弥生時代の貯蔵用の穴と土器が見つかりました。ただこれらを使った人々がくらしのイエは見つかっていません。ここから少し離れた場所（公園や住宅があります）にあるのでしょうか。

発行 財団法人 広島市歴史科学教育事業団 文化財課

〒730 広島市中区国泰寺町1-4-15 広島市役所北庁舎別館3階 TEL082-248-0427

発行日 1997年（平成9年）3月31日

これが弓矢の

威力だ!

これは、広島市内の遺跡で見つかった、矢の先につける、石の矢じりじゃ。調査員のTさんは、その威力を試そうと、弓矢を作って、実験を始めたんじゃ…。



三二座談会 「弓矢から縄文の狩りを考える」



Tさん：どうですか、弓矢の威力は？
Dさん：すごい威力だね。スチールのカンでもぶち抜いてしまうんだね。
Tさん：これならシカやイノシシを一撃で倒すこともできるでしょう？
Dさん：いや、それはちょっと無理じゃないかな。急所の心臓は、たくさんの骨で守られてるから。
Sさん：ただ、矢を受けると、動きが遅くなるし、逃げたとしても、落ちた血を手がかりに後を追うこともできるから、捕まえるのは簡単になるよ。
Tさん：なるほど…。弓矢というのは、そういう効果があるのかあ。
Dさん：矢じりに毒をぬっていたかもしれないね。もっと効果的でしょう。
Tさん：あっ、そういう手もありますね。
Dさん：ところで、どうやって弓矢が使える距離まで近づいたんだろうね。匂いや音に敏感な動物は、すぐ逃げてしまうと思うんだけど。
Sさん：けもの道や水飲み場といった、獲物の来る場所に、待ち伏せしたりしたんじゃないかのう。獲物の習性や行動範囲、地形や風向きなどを計算に入れて、いろいろな作戦を考えたんじゃろうて。
Tさん：縄文人の狩りの知恵というのは、奥が深そうですね。



思うように割れてくれないよ。あ！またやり直し…。

矢じり作りは
むずかしい…。



これで本当に使えるの？

弓矢が完成!



当たるだけでも、大変だよ…。よし、今度こそ!

いよいよ実験開始!

えっ!?



縄文時代の遺跡からは、こんなものも見つかったるんじゃ。



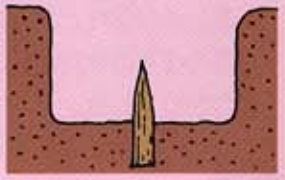
石の矢じりが刺さったシカの骨
宮城県気仙沼市田柄貝塚出土
(金子浩昌氏提供)

ワザあり、ジョーモン!

縄文人は、弓矢のほかにも、犬やわなをつかうなど、さまざまな知恵をしぼって狩りをしていたようです。現代の狩りでも欠かすことのできない、これらの工夫を、何千年も昔の縄文人は、すでに使っていたのです。



穴の底からは、とがった木を立てたと思われる小さな穴が見つかったるぞ。



縄文時代の落とし穴の跡
広島県三次市松ヶ迫A地点遺跡
(財団法人広島県埋蔵文化財調査センター提供)